



kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

vol.111

第61期(2025年10月期)中間報告号

イベントレポート 第7回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2025)に出展しました。

2025年6月18日～21日、幕張メッセ(千葉市)で開催された第7回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2025)に、当社は連結子会社であるユナイテ株式会社および株式会社ソーキと共同出展いたしました。405社・過去最多の2,765ブースでの開催となった当展示会には、年々進化し続ける最新の製品・技術・サービスが一堂に集結。屋内外の両会場に出展した当社ブースにも連日多くの方にお立ち寄りいただき、おかげさまで大盛況のうちに終えることができました。今後も建設業界の課題解決を支援できるよう技術向上に努めてまいります。



kanamoto unite SOOKI 主な展示製品

株式会社カナモト

- 3眼カメラ筋筋検査システム(写らく)
- Honda 電動バッテリー搭載機各種
- 荷ぶれ防止停止装置
- 建設機械遠隔操縦システム「KanaTouch」
- 自立走行輸送ロボット「T300」 など

ユナイテ株式会社

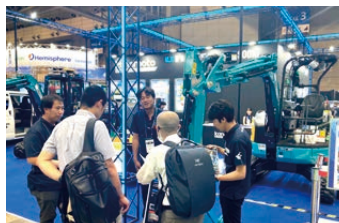
- 追突防止補助装置「U-Stoppen」
- ICT ショベルマシンガイダンス
- 切削管理システム
- ムービングオフィスカー
- 杭ナビ「FC600」 など

株式会社ソーキ

- 警戒エリア安全監視システム「2D センサ」
- 2D 簡易マシンガイダンスシステム「Holfee」
- 作動範囲設定機能付き架空線等接近警報システムエリアガード
- 作業前の安全具装着点検「AIJO Safety」
- 気象IoTセンサー「ソラテナPro」 など



建設機械遠隔操縦システムをはじめとするICT関連機器や電動建機の要となるバッテリー機器などを展示した当社の屋内ブース。併設したステージでは各社のプレゼンほか、マスコットキャラクターの着ぐるみによるダンスパフォーマンスも披露



道路工事施工分野のICT関連機器のほか、多目的移動オフィス車などを展示したユナイテの屋内ブース



マシンガイダンス (MG) や安全対策分野の最新機器を中心に展示したソーキの屋内ブース



荷ぶれ防止停止装置(当社)や切削材積込管理システム(ユナイテ)などを展示した屋外ブース。写真右はメディア取材の様子

取扱サービスのご紹介

Lineup

オンラインレンタルサービス

Quick Order Rental

当社が2025年5月から提供を開始した「Quick Order Rental」は、スマートフォンやパソコンからレンタル注文を行えるオンラインレンタルサービスです。

24時間いつでも手軽に商品の検索からレンタル注文までをスムーズに行え、レンタルしている機材稼働管理等、効率的な現場運営が可能。チャット機能も搭載しており、各種お問い合わせやご相談にも迅速に対応可能な環境を整えています。

スマートフォン・タブレット・
パソコンから 24 時間ご注文可能！

検索

いつでもどこでも
お客様の建設現場を

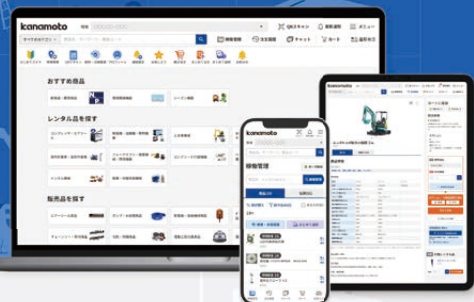
Quick Order Rental で

強力バックアップ

機材の発注・一元管理で
見える化・効率化・ミスをゼロに貢献

注文

管理



第61期第2四半期（中間期）決算の概況 [2024年 11月 1日～2025年 4月 30日]

● 連結経営成績（累計）

括弧内の数字は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率（%）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益 (百万円)	1株当たり 中間（当期）純利益 (円)
第61期中間期	105,163 (4.5)	8,541 (38.0)	8,521 (32.0)	5,171 (42.7)	147.49
第60期中間期	100,681 (3.5)	6,188 (16.2)	6,456 (17.6)	3,623 (23.9)	101.50

● 連結業績予想（累計）

第61期通期	212,500 (2.5)	17,100 (17.4)	17,300 (13.7)	10,500 (16.5)	300.49
--------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------

【経営環境】

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善し、経済的には前向きな動きが見られる一方で、長期化する地政学リスクや中国経済の減速、米国の関税引き上げの影響等が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は補正予算の効果もあって底堅く推移し、民間設備投資は堅調な企業収益等を背景に回復の動きが見られました。しかしながら、建設資材価格の高止まりや建設技能労働者不足が深刻化するなど、業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような状況のなか、当社グループでは、中期経営計画「Progress 65」の実現に向けて、経営資源を効果的に活用することで収益力の強化を図るとともに、適正なレンタル単価の維持・向上を目的とした資産管理体制の徹底と、遂行管理力の高度化を推進するなど、持続可能な収益基盤の拡充に努めております。

また、人材の確保と定着、ならびに従業員エンゲージメントの向上を目的として、当第2四半期より給与水準の引き上げを実施いたしました。

当中間連結会計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は1,051億63百万円（前年同期比4.5%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は85億41百万円（同38.0%増）、経常利益は85億21百万円（同32.0%増）、また、親会社株主に帰属する中間純利益は51億71百万円（同42.7%増）となりました。

【セグメント別の業績】

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、国内の建設投資が底堅く推移する中、地域によってばらつきは見られるものの、総じて建設機械のレンタル需要は堅調に推移しております。

また、当社グループでは、エリア戦略に基づく営業体制の強化と経営効率の向上を図りつつ、デジタル技術の活用や人材育成に注力することで、持続的な事業成長を目指してまいります。

中古建機販売につきましては、レンタル用資産の運用期間の延長を継続し、適正な資産構成を維持するため、期初計画に基づき売却を進めていることから、売上高は前年同期比6.7%増となりました。

以上の結果、建設関連の売上高は939億3百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は78億14百万円（同43.4%増）となりました。

その他

鉄鋼関連、情報関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は112億59百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は4億47百万円（同5.6%減）となりました。

■ 連結財務諸表

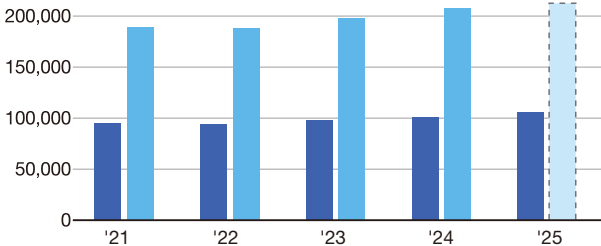
中間連結損益計算書

(単位:百万円)	第60期中間期 (2023.11.1～2024.4.30)	第61期中間期 (2024.11.1～2025.4.30)
① 売上高	100,681	105,163
売上原価	71,957	73,294
売上総利益	28,724	31,869
販売費及び一般管理費	22,535	23,327
② 営業利益	6,188	8,541
営業外収益	509	521
営業外費用	242	540
③ 経常利益	6,456	8,521
特別利益	20	10
特別損失	81	126
税金等調整前中間純利益	6,395	8,405
法人税、住民税及び事業税	2,237	2,883
法人税等調整額	112	△ 68
中間純利益	4,044	5,590
非支配株主に帰属する中間純利益	421	419
④ 親会社株主に帰属する中間純利益	3,623	5,171

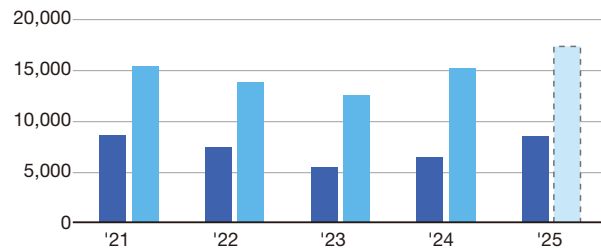
中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)	第60期中間期 (2023.11.1～2024.4.30)	第61期中間期 (2024.11.1～2025.4.30)
中間純利益	4,044	5,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	802	△ 116
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
為替換算調整勘定	260	△ 367
退職給付に係る調整額	3	5
その他の包括利益合計	1,066	△ 478
中間包括利益	5,111	5,111
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,680	4,689
非支配株主に係る中間包括利益	430	422

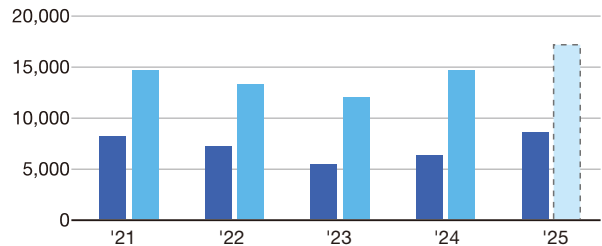
① 売上高



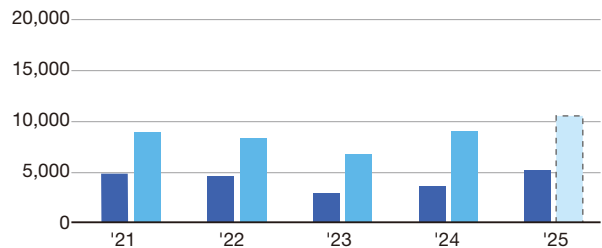
③ 経常利益



② 営業利益



④ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)	第60期 (2024.10.31)	第61期中間期 (2025.4.30)
(資産の部)		
流動資産	126,675	121,106
固定資産	196,177	193,232
有形固定資産	175,070	171,949
無形固定資産	4,833	4,333
投資その他の資産	16,272	16,949
資産合計	322,853	314,339
(負債の部)		
流動負債	92,817	85,814
固定負債	80,322	77,238
負債合計	173,140	163,052
(純資産の部)		
株主資本	133,883	135,536
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,546	19,563
利益剰余金	104,177	107,753
自己株式	△ 7,670	△ 9,610
その他の包括利益累計額	6,125	5,643
その他有価証券評価差額金	3,586	3,467
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	2,576	2,209
退職給付に係る調整累計額	△ 37	△ 33
非支配株主持分	9,705	10,107
純資産合計	149,713	151,286
負債純資産合計	322,853	314,339

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第60期中間期 (2023.11.1～2024.4.30)	第61期中間期 (2024.11.1～2025.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,810	26,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,032	△ 3,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,655	△ 17,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△ 55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,172	5,630
現金及び現金同等物の期首残高	45,093	50,586
現金及び現金同等物の中間期末残高	50,266	56,217

配当の状況

	年間配当金(円銭)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
第60期	—	35.00	—	45.00	80.00
第61期	—	45.00			
第61期(予想)			—	45.00	90.00

TOPICS

IR IR関係

事業関係

イベント

1Q

2024.11

- 鹿児島営業所(鹿児島県鹿児島市)を開設
- 建設RXコンソーシアム Exhibition 2024に出展(品川インターシティホール)



2024.12

- 第60期(2024年10月期)決算発表
- 配当予想の修正(設立60周年記念配当)について発表
- 自己株式取得に係る事項の決定について発表
- 中期経営計画「Progress 65」の策定について発表
- 機関投資家向けオンライン説明会を実施
- 航空自衛隊から「令和6年能登半島地震」の当社対応に対する感謝状を授与
- 剰余金の配当について発表



2025.1

- つくば営業所(茨城県つくば市)を開設
- 第60回定時株主総会を開催
- 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分について発表



2Q

2025.2

- WIND EXPO [2025春] 風力発電展に出展(東京ビッグサイト)
- 新技術「クラウド安全点検表 Digital Safe Check(DSC)」提供開始について発表
- 工具通販大手MonotaROのECサイト「モノタロウ」で建機レンタルサービスを開始
- 自己株式の取得状況および取得終了について発表



2025.3

- 令和6年度「北海道若年優秀技能者知事賞」を受賞
- 第61期(2025年10月期)第1四半期決算発表
- 健康経営優良法人2025(大規模法人部門)に認定
- マルチステークホルダー方針およびパートナーシップ構築宣言を公表



2025.4

- グループ合同入社式・新入社員研修を実施(新入社員は89名)
- 西会津営業所(福島県耶麻郡)を開設
- 創エネ・蓄エネ機能を持つ仮設ハウス「グリーンエネ・ハウス」がNETIS登録
- 第55回岩崎トータルソリューションフェア2025に出展(アクセスサッポロ)
- オンラインレンタル「Quick Order Rental」サービス開始について発表
- カナモトグループ統合報告書2025 ダイジェスト動画を公開



3Q

2025.6

- 2025年10月期業績予想の修正について発表
- EE 東北'25(ENGINEERING EXHIBITION TOHOKU 2025)に出展(みやぎ産業交流センター 夢メッセみやぎ)
- 第61期(2025年10月期)第2四半期(中間期)決算発表
- 剰余金の配当(中間配当)および配当予想の修正について発表
- 機関投資家向けオンライン説明会を実施
- カナモトサンクスフェア2025:秋田を皮切りにスタート
- 第7回国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2025)に出展(幕張メッセ)



会社概要 (2024年10月31日現在)

商号 株式会社力ナモト (英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社 札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部 東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立 1964 (昭和39) 年10月28日
資本金 178億29百万円 (払込済資本金)
上場取引所 東京証券取引所プライム市場・札幌証券取引所
証券コード 9678
発行済株式総数 38,742千株
連結売上高 2,072億18百万円 (2024年10月期)
連結従業員数 3,892名 (役員、嘱託、臨時社員を除く)

株主メモ

事業年度 11月1日～翌年10月31日
定時株主総会 毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日 毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日 毎年 10月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先

株式に関する各種お手続きについて

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求
その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座
管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されてい
る証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀
行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱
UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口
座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UF
J信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいた
します。

役員 (2025年4月30日現在)

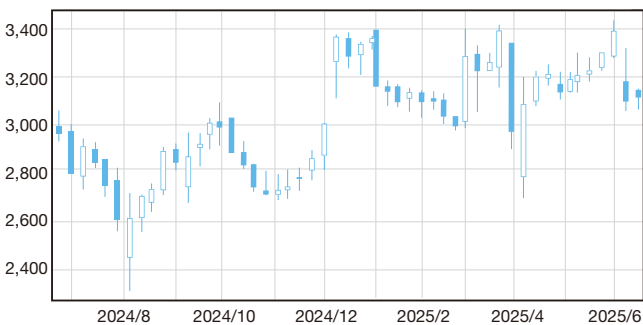
代表取締役会長	金本 寛中	監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	金本 龍男*		生島 典明
	橋口 和典*		石若 保志
	三野宮 朗*		竹内 巖
	渡部 純*	執行役員	熊谷 浩
	廣瀬 俊*		問谷 悟
	山下 英明*		佐藤 信幸
	有田 英司		中谷 秀樹
	米川 元樹		田中 誠一
	田端 綾子		渡辺 光郎
	大川 哲也		小野田 隆司
	澁谷 直美		山根 恵司
			伊藤 徹
			藤原 靖仁

(注) 1. *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
2. 取締役有田英司氏及び取締役米川元樹氏、取締役田端綾子氏、取締役大川哲也氏、
取締役澁谷直美氏は社外取締役であります。
3. 監査役生島典明氏及び監査役石若保志氏、監査役竹内巖氏は社外監査役であります。

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。
<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することが
できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号
電話 0120-232-711

株価チャート (週足) 単位: 円





<https://www.kanamoto.co.jp>
(証券コード9678)



本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19 Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7 Tel:(03)5408-5600
